

## 特集／男性の暮らし方・意識も変われば日本も変わる……P2～3

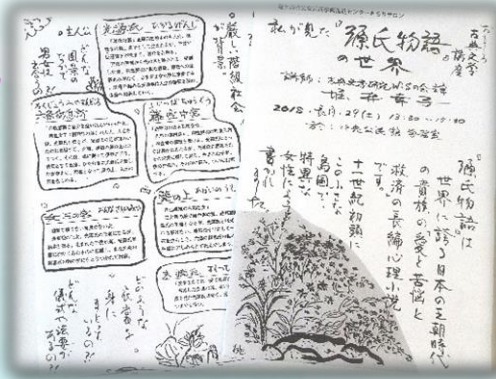
### 〈きらりサロン〉おもしろ古典文学講座 ～私が見た“源氏物語”の世界～ 9/29 講師：堀井幸子さん

源氏物語に登場するヒロインたち。王朝文化に息づく女性たちの個性や生き方を新しい視点でとらえ、源氏物語の魅力を再発見！

先生のお話は物語だけでなく、人生についても考えさせられて良かったです。



育児に追われ、このような時間は持てませんでした。笑いながら学び、また明日から頑張れる！次回も是非託児付きで。



楽しく品格のある講座でした。書道教室を開いている私は、とても「学ぶ喜び」を感じました。

### 〈きらりサロン〉女性のキャリア形成支援講座 ～これからの私のためのライフ・プランニング～ 10/5 講師：福沢恵子さん

「子育てと仕事、両立ができるかしら」と悩むママ世代が集まり、子育ても仕事もあきらめない自分らしいライフ・プランについて共に学び・考えました。



子どもを預けて働く不安もありましたが、子どもは他の大人との関わりが大切だと知り、前向きに考えようと思いました。



先生の話し方はとても分かりやすく、働くことに対して気持ちの整理ができました。

人脈アップを書き入れるワークは初めてでした。今まで出会った方の新しいとらえ方を学び、視野が広がりました。

娘が成長し、少し時間ができましたので、これから少しずつ情報を集め、再就職の準備を進めたい。勇気をもらいました。

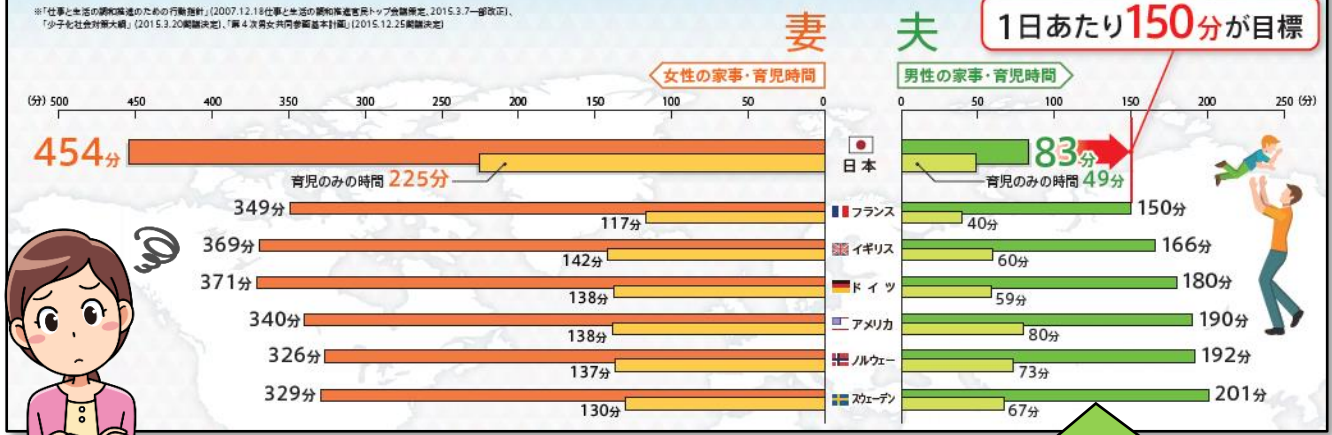
# 男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる!?



## 日本人男性も世界レベルの家事メンに

6才未満の子供を持つ日本人男性の1日あたりの家事・育児時間を83分から2020年に150分に

※「仕事と生活の調和推進のための行動指針」(2007.12.18仕事と生活の調和推進部長トップ会議決定、2015.3.7一部改訂)、「少子化社会対策大綱」(2015.3.20閣議決定)、「第4次男女共同参画基本計画」(2015.12.25閣議決定)



内閣府男女共同参画局作成ポスターより

千葉県の男性の平均は、**87分!**

子育て世代を中心に「イク(育)メン」や「カジ(家事)メン」という言葉をよく耳にします。昭和55年以降、共働き世帯は増え続け(全国平均48.8%:2017年総務省調査)、育児中の女性の就業率も上昇(全国平均64.2%:同調査)していますが、家庭生活における家事・育児への男性の参画は本当に進んでいるのでしょうか?

2016年に総務省が行った、「6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児に費やす時間(1日当たり)」の調査によると、日本では**妻の454分に対して、夫は83分で、妻の時間の2割にも満たない**事が分かりました。これは、先進国の中でも最低水準となっています。さらに、**妻はフルタイム勤務とほぼ同じ時間を、家事・育児にも使っている**ことが浮き彫りになりました。日本の子育て世代のワーク・ライフ・バランスをめぐる状況は、男女ともにまだまだ厳しいようです。

なぜ日本の男性は他の先進国に比べ、こんなにも家事・育児に費やす時間が少ないのでしょうか。

その原因のひとつに「男性の長時間労働」が挙げられますが、「家事・育児は女性の役割という固定概念がある」ことや、「男性の家事・育児に対する知識やスキルが、女性に比べて不足している」ことなども影響しているようです。

### ワンオペ育児

(家事・育児をすべて一人でこなす事)



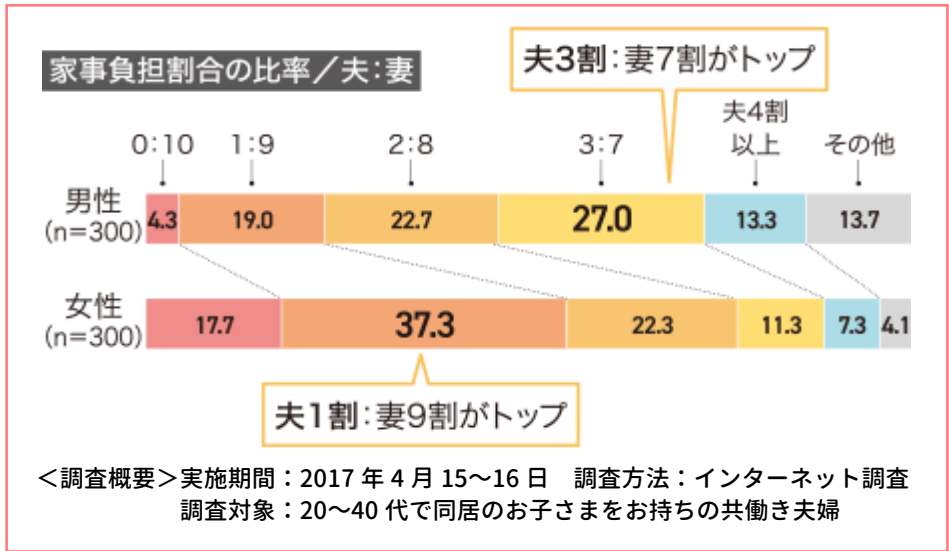
### ご存知ですか?

### 「名もなき家事」

「家事」に対する男女の意識を知る上で、興味深いデータをご紹介します。

大和ハウス工業株式会社が、子どものいる共働き夫婦を対象に2017年に行ったアンケート調査の結果、夫婦の家事参加に対するお互いの意識に大きなギャップがあるだけでなく、**そもそも「家事」の定義についても夫婦で異なる**ことが浮き彫りになりました。





**家事の負担実態**

「やってるつもり」!?

夫の家事参加率、  
**夫[3:7] → 妻[1:9]**  
と大きなギャップ

上のグラフは、夫婦の家事負担割合を聞いたものです。夫の認識は「夫3割、妻7割」がトップに対し、妻の認識は「夫1割、妻9割」がトップとなり、妻が思っているより「自分はやっている」と思う夫が多いことが分かりました。

このような意識のギャップはどこからくるのでしょうか。同アンケートでは、30項目の家事について、夫と妻に「家事だと思うか」を聞いています。例えば、「トイレトーパーが無くなった時、買いに行く」や「靴を磨く」、「町内会やマンションの会合に出席する」は夫と妻で10ポイント以上の差があり、他にも「食事の献立を考える」や「飲みっぱなしのグラスを片付ける」、「新聞・雑誌などをまとめて捨てる」などなど、妻が日常的に行っているにも関わらず夫が家事だと認識していない「**名もなき家事**」の存在が明らかになりました。意識ギャップの背景には、家庭生活に欠かせない多くの「名もなき家事」が影響しているのかもしれない。

**妻の言い分**

夫は家事を「手伝う」モノだと思っており、当事者意識がない。(30代・女性)

洗い物をしてもらおうと洗い残しがあり、洗濯を干してもらおうと、しわを伸ばさず干しており、かえてって仕事が増える。(40代・女性)

**夫の言い分**

せつかく家事をやっても、褒めてもらいたかったのにダメ出しされる。(20代・男性)

家事をやるようとするが、妻の思うように上手くいかない。(30代・男性)

妻がイライラしていると、近寄らないでおこうとつい遠ざかってしまう。(40代・男性)

※2016年7月 大和ハウス工業(株)調べ

家事も育児も、知識やスキルがある妻（あるいは夫）だけで担いきれるものではありません。完璧にこなそうと一人で頑張りすぎるのも、そのうち辛くなりそうです。

男性が家事・育児等に参画しやすくするためには、結婚しようとする段階から、家事・育児に対する考え方や、仕事を含めた暮らし方全般について二人で話し合うなどコミュニケーションを図るほか、家事・育児の知識やスキルのギャップを埋める努力も大切です。お互いが相手の意見に耳を傾け、歩み寄ることができれば、つい見落としがちなる「名もなき家事」についても「家族みんなで分担しよう」という発想が生まれ、「家事・育児は女性の役割」という固定概念も解消されるでしょう。

共働きが当たり前になってきた今、男性中心型労働慣行を見直し、男女が共に職業生活と家庭生活の両立ができるよう、意識改革も含めた取り組みが始まっています。





# 男女共同参画推進センター これからの予定



11月16日(金) きらりサロン③「カラーセラピー プチ体験 ~自分と話そうよ~」

12月 8日(土) ヒューマンフェスタかまがや 2018  
朝日山親方講演会 「力士の生活の変化」  
同時開催：中学生による人権作文朗読(手話通訳あり)

1月27日(日) **男女きらりフェスタ**  
男女共同参画団体や市民活動団体による楽しい企画がいっぱい!

2月 2日(土) 鎌ヶ谷市市民企画セミナー 講師：田端 八重子さん  
「災害リスクをダイエット ~わたしたちができること~」



詳細は市広報またはセンターHPでお知らせします。お楽しみに!!



## 女性への暴力をなくす運動 11月12日~11月25日 ご存じですか? **パープルリボン**

パープルリボンは女性に対する暴力根絶のシンボルマークです。

- ・ツリー設置期間：11月1日~11月30日
- ・場所：鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター



リボンをツリーに飾りましょう!  
パープルリボン運動に是非ご参加下さい!

### ひとりで悩まないで相談を!

#### ◆ 身近な相談窓口

窓口	電話番号	受付時間
鎌ヶ谷市女性のための相談 (面接相談は要予約)	047-445-1277	月~金 8:30~17:15
千葉県女性サポートセンター	043-206-8002	24時間 365日
千葉県男女共同参画センター	04-7140-8605	火~日 9:30~16:00
習志野健康福祉センター	047-475-5966	月~金 9:00~17:00
千葉県警察本部相談サポートコーナー	043-227-9110	月~金 8:30~17:15
女性の人権ホットライン	0570-070-810	月~金 8:30~17:15

#### 鎌ヶ谷市 女性のための面接相談

専門の女性相談員が、DVをはじめ、女性が抱える様々な問題について面接による相談をお受けします。  
安心してご相談下さい。  
・相談日：原則毎週水曜日  
・相談時間：9:30~14:20

当センターHPが  
新しくなりました! →



※緊急時は110番へ。鎌ヶ谷警察署生活安全課でも相談できます。



鎌ヶ谷市男女共同参画推進センター (鎌ヶ谷市富岡 1-1-3 ショッピングプラザ鎌ヶ谷 3階)  
TEL: 047(401)0891 FAX: 047(401)0892  
開所時間: 午前9時~午後5時 (ミーティングテーブルの利用は午後9時まで) 施設休所日を除く毎日